

カラーファクシミリ相互接続試験実施要領

HATS 推進会議
(高度通信システム相互接続推進会議)
ファクシミリ相互接続試験実施連絡会

カラーファクシミリ相互接続試験実施要領

改定履歴

版	改定年月日	改定内容	担当
0.0	2000年6月6日	TTCにてTTC-G-024-V1として制定	笹野
1.0	2007年3月31日	TTCより譲渡	笹野

本書は、TTCがガイドラインとして制定・管理していたものをHATS推進会議（以下、HATSという。）に譲渡されたものであり、HATSが著作権を保有しています。

内容の一部または全部をHATSの許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁じます。

TTC相互接続試験実施ガイドライン

カラーファクシミリ
相互接続試験実施ガイドライン

保存用

第1版

2000年6月6日制定

社団法人

電信電話技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

TTC相互接続試験実施ガイドライン

カラーファクシミリ 相互接続試験実施ガイドライン

第1版

2000年6月6日制定

社団法人

電信電話技術委員会

TTC相互接続試験実施ガイドライン改版履歴
(カラーファクシミリ相互接続試験実施ガイドライン)

版数	制定日	改版内容
第1版	2000年6月6日	制定

目次

第1章	試験の目的	1
第2章	試験の対象	1
2.1	試験の対象となる端末・システム	1
2.2	試験に利用する網	1
第3章	本資料が試験対象とする標準の範囲	1
第4章	事前確認事項	1
4.1	試験対象以外に準拠すべき標準の範囲	1
4.2	事前確認事項	1
第5章	試験項目	1
5.1	試験条件	1
5.2	試験項目	2
5.3	試験方法	3
5.4	合否判定	3
第6章	試験の手順	3
第7章	結果の報告	3
第8章	試験の組み合わせ	3
表1	カラーファクシミリ相互接続試験のチェックシート及び連絡票	4
表2	カラーファクシミリ相互接続試験日	5

第1章 試験の目的

カラーファクシミリについては、国際電気通信連合（ITU）において標準化が進められ、関連の勧告が承認されている。

1996年10月にファクシミリのカラー拡張は勧告化された。

この機能は、1997年4月及び1999年4月にTTC標準として制定された。

この機能をいち早くユーザに提供するために、相異なるメーカー間での相互接続性を確認し、ユーザの利便を図ることを目的とする。

本実施要領は、上記の状況の中で、各メーカーの製造する製品間での必要最低限の相互接続性を確保するために実施すべき相互接続試験の内容・手順等について規定するものである。

第2章 試験の対象

2.1 試験の対象となる端末・システム

試験の対象となる端末は、TTC標準 JT-T30/JT-T4/JT-T42、ITU-T勧告 T.81 を満たすように作られたカラーファクシミリである。

2.2 試験に利用する網

公衆通信回線を利用する。

第3章 本資料が試験対象とする標準の範囲

本相互接続試験が確認する勧告・標準の範囲は、次の通りとする。

TTC標準 JT-T30/JT-T4 のうち、カラーファクシミリに関係する部分。

TTC標準 JT-T42。

ITU-T勧告 T.81。

第4章 事前確認事項

4.1 試験対象以外に準備すべき標準の範囲

試験として、試験対象以外に準備すべき標準は特に定めない。

4.2 事前確認事項

相互接続試験を円滑に実施可能とするために、相互接続試験の参加希望社は、事前に十分な試験を完了しているものとする。

事前試験としては、相互接続試験を行う機器の使用環境を整えた上で、

- ・関連する勧告、標準に基づくプロトコルの検証試験
- ・システム全体の機能確認試験
- ・相互接続試験を行うのに十分なシステムとしての信頼性の確認試験

等が完全に実施されるものとする。

事前の十分な確認試験が実施されたか否かについては、実施者自身の責任に基づく判定によるものとする。

第5章 試験項目

5.1 試験条件

1) 原稿

ITU-T勧告 No. 6 カラーチャートの両端を切りA4幅にしたもの。
(ITU-T勧告 T.23 Test Chart No.6—4-Color Printing Facsimile Test Chart 4CP01)

なお、原稿に送信会社名を明記する。

2) 回線

公衆通信回線を利用する。

3) 装置の設定

3-1) 送信側の設定

【選択】

(1)ライン数の指定

(a): SOF0 マーカー (の Y パラメータ) で指定。

(b): DNL マーカー (の NL パラメータ) で指定。

(2)カラーモード

(a): カラー。

(b): グレースケール。

(3)リスタートマーカー

(a): 送信しない。

(b): 送信する。

(設定 1) DNL 使用、カラー、リスタートマーカー無し: (1)(b), (2)(a), (3)(a)

(設定 2) DNL 不使用、カラー、リスタートマーカー無し: (1)(a), (2)(a), (3)(a)

(設定 3) DNL 使用、カラー、リスタートマーカーあり: (1)(b), (2)(a), (3)(b)

(設定 4) DNL 使用、グレースケール、リスタートマーカー無し: (1)(b), (2)(b), (3)(a)

【共通】

(4)符号化モード: JPEG ベースライン

(5)照明光: D50

(6)色再現域: TTC 標準 JT-T42 のデフォルトの領域。

(7)サブサンプリング: 4:1:1

(8)解像度: 200 dpi

(注) G3FAX 識別子とともに APP1 マーカーに記述する。
DCS で指定した値とあわせる。

(9)画像幅: 1728 pixel

(設定 1)の条件での送信ができること。

3-2) 受信側の対応

送信側の設定(4)~(8)は固定とする。

(設定 1)の条件での受信ができること。

(設定 2、3、4)は、受信できることが望ましい。

(注) 上記項 3-1) 送信側の設定【選択】(1)(2)(3)のすべての組み合わせは、許容されている。

5.2 試験項目

1) G3 ファクシミリのための連続階調カラー伝送手順

TTC 標準 JT-T30

(ITU-T 勧告 T.30)

- 2) ファクシミリのための連続階調カラー表現方式
TTC標準JT-T4 (ITU-T勧告 T.4)
- 3) ファクシミリのための連続階調カラー表現方式
TTC標準JT-T42 (ITU-T勧告 T.42)
- 4) 画像圧縮・伸長 (JPEG)
(ITU-T勧告 T.81)

5.3 試験方法

- 1) 双方から送信を1通信ずつ行う。
A4 1ページの送信
(200dpi×200dpi or 8pel/mm×7.7line/mm)

5.4 合否判定

(設定1)でのA4カラー原稿1ページの送受信ができること。
送信側は必要な画像を最後まで送信し、手順も正常に終了すること。
受信側は手順を正常に終了し、画像も正常に出力すること。
通信スピード、通信時間、PPR (ECMの再送信)発生頻度は問わない。
受信画像の色が送信原稿と極端に違っていないこと。
結果は、表1“カラーファクシミリ相互接続試験のチェックシート及び連絡票”に記入する。

第6章 試験の手順

試験は、下記の手順に従い実施することを原則とする。

- 1) 取りまとめ会社は、事前に参加会社の担当者及び連絡先及び試験日時と交信相手を明記した表2を明確にして、参加各社に連絡する。
- 2) 責任会社(表2の取組表にアンダーラインの付いている会社)は、少なくとも試験開始30分前までに、非責任会社に確認の電話連絡を取る。この時に試験のFAX番号と連絡用の電話番号を連絡し詳細事項の取り決めを行う。
- 3) 非責任会社は試験終了後に試験結果を確認し、責任会社となっている会社に報告を行う。
この時に試験結果に特記すべき事項がある時には、その内容も伝える。
- 4) 責任会社が試験結果をまとめて表1“カラーファクシミリ相互接続試験のチェックシート及び連絡票”を作成する。
各試験終了後2日までに取りまとめ会社に結果表を送付する。

第7章 結果の報告

- 1) 取りまとめ会社は、各社の結果票が揃ったら、結果を取りまとめてファクシミリ相互接続試験実施連絡会に提出する。

第8章 試験の組み合わせ

試験は3社以上の総当たりで行う。

2回目以後の試験はカラーファクシミリ相互接続試験を終了し、結果良好が確認されている会社2社以上と、相互接続試験を行う。

そのときの取りまとめ会社、責任会社、非責任会社は、当事者同士で決定する。
試験手順及び報告は、上記第5章、第6章、第7章に準ずる。

以上

カラーファクシミリ相互接続試験のチェックシート及び連絡票

(表1)

報告会社名 _____

1. 試験日 月 日 () : ~ :

2. 試験結果

2.1 カラーファクシミリ通信 (送信)

1) _____ → _____

通信モード 通信数	A4 1枚送信 標準モード (200dpi-200dpi)	設定No	備 考
1			
2			
3			
4			

○ : OK

× : NG

- : 能力無し

2.2 カラーファクシミリ通信 (受信)

2) _____ → _____

通信モード 通信数	A4 1枚受信 標準モード (200dpi-200dpi)	設定No	備 考
1			
2			
3			
4			

○ : OK

× : NG

- : 能力無し

3. まとめ

カラーファクシミリ相互接続試験日

(表2)

年 月 日

		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()		月 日 ()	
		①	②	①	②	①	予備	予備日	予備日	予備日	
A		<u>B</u>	C	<u>D</u>	E						
B		A		<u>C</u>	D	<u>E</u>					
C		E	<u>A</u>	B		<u>D</u>					
D			<u>E</u>	A	<u>B</u>	C					
E		<u>C</u>	D		<u>A</u>	B					
F											
G											

注1：試験開始時間 ①午前10:00 ②午後2:00

注2：_____ (下線) は接続試験において、自社が先手 (責任会社) となる相手先を示す。
尚、責任会社は試験開始にあたって、始めに電話連絡を行い、結果の連絡を幹事まで行う。

- 本ガイドラインの最新版については、TTCホームページの「TTC標準・出版物案内」の「相互接続試験実施ガイドライン」の項目にて最新の版数をご確認ください。
(ホームページ <http://www.ttc.or.jp/>)

TTC相互接続試験実施ガイドライン

TTC-G-024-V1

カラーファクシミリ相互接続試験実施ガイドライン

第1版

2000年7月30日 発行

定価1,600円 (本体1,524円)

発行所 社団法人電信電話技術委員会
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-11
浜松町鈴木ビル2F
TEL.(03)3432-1551 FAX.(03)3432-1553

印刷所 (株)一二三書房